

自立活動だより

R8.2月

長崎特別支援学校 自立活動部

柔らかな日差しに春の訪れを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。いよいよ今年度も残りわずかとなり、進級・卒業への期待に胸が高まる頃となりました。今回も校内研修や体験会について紹介します。

外部専門家活用事業報告会（1月15日）

児童生徒の指導において外部専門家を活用し、自立活動の指導を中心として専門的視点から助言を得ることにより、教師の専門性を高めて指導の改善を行います。さらに、指導や支援について研修することで学校全体の専門性の向上を図っています。今年度は、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、歯科医師の方々に、指導及び助言をいただきました。今回の報告会では、歯科医師による摂食指導の事例をもとに、来校指導で個々の教師が得た学びを職員全体で共有しました。



食事の姿勢や口唇閉鎖の援助方法、とろみの付け具合、頭部の位置など助言をいただき、安心して摂食指導を行えるようになりました。



前回の『自立活動だより（R7.11月発行）』の「意識しておきたいワンポイント」に、『小児摂食嚥下評価スケール（ABFS-C）を活用しながら、安全な食事を！』を掲載しております。そちらもご覧ください。

電動移動機器体験会（1月28日・30日）

むつみの家の理学療法士、杉本先生と多田先生のご協力のもと、デモ機を用いて電動移動機器体験会を実施しました。電動移動機器に乗りスイッチ等を使って移動する経験を通して、因果関係の理解を促したり、達成感を味わわせたりすることを目的に取り組みました。

電動移動機器とは、車椅子や座位保持装置に取り付け、ジョイスティックやスイッチなどを用いて移動する機器です。開発された目的として、移動する楽しさを味わう、好奇心を引き出すといったことが挙げられています。

使用している車椅子の前方または後方のフレームに電動移動機器を取り付けます。



体験会の様子



スイッチを押すと進んでいることに気付いて、押し続けたよ！



ぐんぐん進んで、鬼のブロックを倒しに行きました。とりゃ〜！！



ねらった所まで進むことができて、「やったね！」のハイタッチ！！



棒スイッチを操作して進みます。ちょっとドキドキするけど、楽しいかも！(^ ^)!



担任の先生のところまで進み、ぶつかるかどうか、ギリギリの近さを攻めます！



触れると反応するクッションセンサーで進みます。レッツゴー！



顔に付けたピエゾセンサーがスイッチです。笑顔で進みます(^ ^)♪



スイッチを介した電動移動機器を操作する経験を通して、児童生徒一人一人が自ら動く喜びや達成感を味わい、意欲的に学習に取り組むことができました。また、体験している児童生徒の実態に即した指導や助言をいただいたことにより、職員にとっても貴重な研修の機会となりました。

ビッグスイッチ	握りスイッチ	ピエゾセンサ	クッションセンサ	クリップアーム棒スイッチ
				
大きいスイッチで押しやすいです。	手の内に握って使います。	手や顔に張り付けて使います。小さい動きで反応します。	クッションに触れると反応します。感度の調節も簡単です。	棒に触れると反応します。アームで自在にセットできます。

体験会で使用しましたスイッチの一部を紹介します。前回の『自立活動だより (R7.11月発行)』に「ピエゾニューマティックセンサスイッチ」「明確なねらいをもって活用する。使うことが目的にならないようにする!」を掲載しております。そちらもご覧ください。

